

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-119	高等学校	情報	社会と情報	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104 数研	社情 315	社会と情報 Next		

1. 編修の趣旨及び留意点

情報社会に主体的に対応できる能力と態度を育てることができるように、情報に関する科学的な見方や考え方を身につけると共に、社会の中で情報や情報技術が果たしている役割や影響を理解させるようにした。また、情報や情報技術を活用するための知識と技能を身につけることができるように、実践的な内容も重視した。

2. 編修の基本方針

- (1) 情報や情報技術に親しみ、興味を持って学習できるように、できるだけ身近な事例を取り上げ、興味を持続して学習できるようにした。
- (2) 知識の整理、および学習した原理や法則の活用を実践する場を与えるため、学習の進度に応じて実習を豊富に入れ、知識や技術の整理・確認をしながら、応用力を養えるようにした。

3. 対照表

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
序編 情報とメディア	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の種類と検証について扱い、多様な情報に振り回されない判断力を養えるように配慮した(第1号)。 	6 頁～7 頁
第1編 情報社会と情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットにおけるトラブルについて、イラストを用いて説明し、身近なところに危険が潜んでいることを注意喚起するとともに、どのような対策をとるべきかを示した(第1号)。 ・著作権について詳しく扱い、他者の持つ知的財産を尊重する態度を身につけることができるように留意した(第3号)。 	30 頁～35 頁 44 頁～47 頁
第2編 デジタル情報と情報の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な場面で生命や自然に関する写真を取り上げ、機械的・人工的な写真が中心にならないように配慮した。また、実習の例として、「エコロジー」に関するポスターを扱った(第4号)。 	66 頁(図2), 67 頁(図4, 表1), 88 頁～89 頁, 99 頁
第3編 情報通信ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・通信やマスコミュニケーションの進展について、日本・国外の歴史的背景をまとめた(第5号)。 	106 頁～109 頁
第4編 望ましい情報社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の学習では、部活動における問題解決を例として扱 	128 頁～131 頁

	い、日常生活の様々な場面でも応用しやすくなるような記述に留意した(第2号)。 ・日本で開発されたOSであるTRONが、様々な場面で世界的に広く使われていることを取り上げた。(第5号)。	138頁(TOPIC)
後見返し 作業環境と望ましい習慣	・情報機器を使った作業を行う際、心身の疲れを軽減し、健康を保持できるように、作業時の注意点をまとめた(第1号)。	後見返し裏①

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

① 身近な内容の充実

【携帯電話とSNS】

- ・生徒にとって最も身近な情報機器と考えられる携帯電話の扱いに関する注意点を口絵にまとめた。また、多くの高校生に利用されているSNSについても、利用上の注意点を口絵にまとめた。

使用場所に関する注意

<p>飛行機</p> <p>電波が航空機に影響をあたえることがあるので、各航空会社の指示に従う。</p>	<p>自動車</p> <p>自動車やバイクの運転中に通話したり、メールの送受信などを行うことは法律で禁止されている。</p>	<p>映画館や美術館など</p> <p>映画館や劇場、美術館、図書館など、静かにすることが求められる場所では、周囲の迷惑にならないよう、電源を切る。</p>
<p>病院</p> <p>病院では電波が医療用電気機器に影響をあたえることがあるので、原則として電源を切る。使用する場合は、各病棟の指示に従う。</p>	<p>電車・バス</p> <p>電車やバスでは、他の乗客の迷惑にならないように、マナーモードに設定し、通話は控えるなど、各交通機関が案内するマナーに従って使う。</p>	<p>レストランやホテルのロビー</p> <p>レストランやホテルのロビーでの通話は、周囲の迷惑にならないよう、声のトーンを控えめにし、迷惑のかけない場所に移動する。</p>

この口絵は、SNS利用時の様々な注意事項をまとめたものである。各項目には具体的なアドバイスと参考ページが記載されている。

- プロフィール**: 名前や顔写真、生年月日などは、重要な個人情報である。個人情報はいったん消すと、とりかえしがつかないので、安易に公開しないように気をつける。(P.48)
- パスワード**: SNSでは、ユーザIDとパスワードを設定する。パスワードが盗取られると、SNSを他人に不正に利用される危険がある。安全なパスワードを設定し、定期的にパスワードを更新しよう。(P.38-39, 52)
- 公衆電報**: SNSでは、自分のプロフィールや書きこみなどの情報を、誰が閲覧できるかを理解しておくことが大切である。誰でも閲覧できる状態は危険である。閲覧できる人の範囲は、サービスや設定によって異なるので、よく確認してあげよう。(P.38-39)
- 場所に関する注意**: 携帯電話やデジタルカメラには、簡単に高精度に位置情報がつくようになってきているものも多い。この機能が設定されていると、自宅で撮影した写真を公開した時点で、住所が知られてしまうことになる。また、SNSによっては、書きこみをした場所の情報を知らせるものもあるので、同様に注意が必要である。(P.48)
- 友だち**: SNSを通じて、新しい友だちができることも多い。しかし、実際の人物がわからずしきプロフィール通りとは異なる。その点に注意して、必要に応じて会いなど慎重な行動が必要である。(P.33)
- 投稿内容に関する注意**: インターネットでのやりとりは、文字によるコミュニケーションが中心である。誤解が生じてトラブルに発展することもある。誤解を生まない表現を工夫するなどして、よく考えてから発言しよう。また、他人の著作権や肖像権、プライバシーを侵害しないように注意しよう。(P.26, 30-31, 46-49)

【情報モラル】

- ・インターネットを利用する上でトラブルとなりやすい点について、高校生に注意を喚起するため、実際に起きた炎上事件をもとにしたイラストで紹介するなどして、詳しく取り上げた。

◆ 悪ふざけ

イラストは、アイスケースを盗んでSNSに投稿した生徒の悪ふざけが、炎上事件を引き起こしている様子を描いている。

「アイエー！」
「おもろい写真でコメント増えるかな〜」
「SNSに投稿！」
「アイスクリームなう^^ 写真添付アリ」
「不衛生! どのお店?」
「誰がやった? 最低!」
「××高校の人らしいよ!」
「炎上!」

② 親しみやすさへの配慮

【編トビラ】

- ・ 編トビラでは、各編の内容に関連した場面をイラストで大きく取り上げるとともに、簡単なクイズを掲載し、学習内容への興味を喚起できるように配慮した。



③ 使いやすさへの配慮

【情報機器の利用に関する資料】

- ・ 実習の際に活用しやすいよう、口絵にパソコンの基本的な操作を掲載した。
- ・ 後見返しでは、情報機器を使った作業時の注意点をまとめ、心身の疲れを軽減し、健康を保持できるように配慮した。また、パソコンのキーボードやローマ字入力の方法について再確認を行いやすいように配慮した。



マウスの操作

● クリック

マウスポインタを目的的位置において、マウスの左ボタンを1回だけ押しはなす操作。通常、2つのボタンがあるマウスでは、左側のボタンを押しはなすことをクリックするという。



● 右クリック

マウスポインタを目的的位置において、マウスの右ボタンを1回だけ押しはなす操作。



④ 理解を深める工夫

【TOPIC・Q】

- ・TOPICでは本編の各内容に関連した話題を適宜扱い，知識を深めることができるように配慮した。また，Qでは簡単な問題を適宜扱い，理解の確認ができるように配慮した。

T O P I C 技術の発達と著作権

かつては，著作権は作家と出版社，演奏家とレコード会社のように，作品をつくる側とそれを販売（出版）する側との間でしか問題にならなかった。しかし，現在では，コンピュータとデジタル機器の発達により，音楽，映像，文章などをだれでも簡単に複製できる状況となった。そのため，一般の人が著作権を侵害するケースが多くなり，大きな社会問題になっている。

Q 7ビットでは，何通りの情報を表すことができるか。

⑤ ユニバーサルデザインへの配慮

- ・色覚の個人差を問わず多くの人に見やすいよう，カラーユニバーサルデザインに配慮するとともに，見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を使用することによって，より多くの人利用しやすいよう配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-119	高等学校	情報	社会と情報	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104 数研	社情 315	社会と情報 Next		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I. 本書の特色

- (1) 図や表を中心とした紙面構成とし、視覚的に理解できるように配慮した。
- (2) 楽しく親しみやすい紙面となるように、人物のイラストを豊富に掲載した。主要な登場人物として、高校1年生の男女を設定し、登場人物と一緒に学習しているような紙面となるように配慮した。
- (3) 実習を通じて、体験的に理解できるように、実習を豊富に取り上げた。
- (4) 「情報」、「メディア」、「アナログとデジタル」、「インターネットの活用」といった基本的な内容を序編でまとめて扱うことで、スムーズに本編が学べるように配慮した。
- (5) 重要語句や難読語句、アルファベットの略語には読み方のルビを振った。
- (6) 巻末には、「表計算ソフトウェアの関数」、「著作権に関する資料」、「用語集」など、豊富な資料を掲載し、学習の参考とすることができるように配慮した。
- (7) ユニバーサルデザインの考えに基づき、より多くの人々が利用しやすいよう、カラーユニバーサルデザインに配慮し、見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を使用した。

II. 本書の特徴的な構成要素

① Keyword・Note・Attention・語源

- ・用語や注意しておきたいことなどの補足的な説明を、内容によってデザインを変えて一目で区別できるようにした。

Keyword：本文を学習する際に重要となる用語

Note：本文の補足的な内容

Attention：注意したい内容

語源：用語の語源の説明

Keyword

パーソナルコンピュータ

個人が使うことを目的につくられたコンピュータ。略してパソコンやPCとよばれることが多い。

語 源

カーボンコピー

文字を複写するために用いるカーボン紙によって複写された文書を、カーボンコピー (carbon copy) といいい、「Cc欄」の名前の由来になっている。

② Try・実習

- 本編の各ページの説明に関連した、比較的簡単な実習を「Try」として適宜取り上げた。また、各編末には、内容の理解を深めることができる実習を精選して取り上げた。

TRY

- ① デスクトップや開いたフォルダを右クリックをして、フォルダを作成してみよう。
- ② ワードソフトやテキストエディタなどで、1行目に学校名を、2行目に名前を入力して、作成したファイルを、①で作成したフォルダに保存してみよう。
- ③ ②で保存したファイルのファイル名を変更してみよう。

実
習



情報の検索

サーチエンジン（検索エンジン）を利用して、効率よく情報を集める方法を身につけよう。

手順

1 簡潔な言葉や文章を入力してみよう。

まずは、調べたいことを簡潔な言葉や文章で入力し、検索してみよう。

例 「明日の天気は」、「〇〇高校の行き方は」など

クリック

Attention

ぱらぱら漫画

本書の右下には、動画の原理を理解するためのぱらぱら漫画を掲載しています。

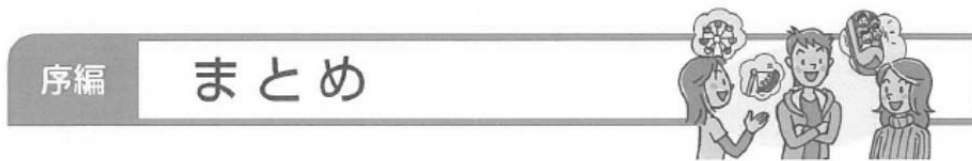


③ ぱらぱら漫画

- 頁右下にぱらぱら漫画を用意。教科書をめくることで、動画のしくみが理解できるように工夫した。

④ 編末のまとめ

- 各編末には、内容のまとめを掲載。重要な点を簡単に確認できるように配慮した。



第1章 情報とメディアの特徴

● 情報の特徴 p.6~7

- 情報…何か行動をするとき、その意思決定の材料になることがら。
 - ◆ 一次情報…自分の目で見ると、直接体験して得た情報。
 - 例 実際にその場に行って、「雨が降っている」という情報を得た。
 - ◆ 二次情報…他の人から聞いたり、他の人が選別した情報。
 - 例 テレビの天気予報を見て得た情報
- 情報を取りいれるものを情報源という。
- 情報を数値や文字や記号で表したものをデータという。
- 得られた情報を、他の情報源の情報とつきあわせることをクロスチェックまたは相互確認という。
- クロスチェックなどにより、誤った情報や偽の情報をとり除くことを情報の検証という。
- 情報の正しさを信用できる度合いのことを信ぴょう性という。

⑤ 巻末付録

- 実習に関連した付録を巻末に掲載。カードを使うなどして、楽しみながら学習できるように配慮した。

2進数⇄10進数 変換シート (⇒p.84~85)

位	2^7	2^6	2^5	2^4	2^3	2^2	2^1	2^0
10進数	128	64	32	16	8	4	2	1
2進数								

2進数⇄10進数 変換カード (表)

0	0	0	0	0	0	0	0
(2^7 の位)	(2^6 の位)	(2^5 の位)	(2^4 の位)	(2^3 の位)	(2^2 の位)	(2^1 の位)	(2^0 の位)

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
序編 情報とメディア 第1章 情報とメディアの特徴	(1) 情報の活用と表現 ア 情報とメディアの特徴	6 頁～11 頁	10
第2章 コンピュータの活用	(1) 情報の活用と表現 イ 情報のデジタル化 (2) 情報通信ネットワークと コミュニケーション ウ 情報通信ネットワー クの活用とコミュニ ケーション	12 頁～17 頁	
第1編 情報社会と情報モラル 第1章 人・社会とのかかわり	(3) 情報社会の課題と情報モ ラル ア 情報化が社会に及ぼ す影響と課題	24 頁～35 頁	17
第2章 技術とのかかわり	(3) 情報社会の課題と情報モ ラル イ 情報セキュリティの 確保	36 頁～43 頁	
第3章 法とのかかわり	(3) 情報社会の課題と情報モ ラル ウ 情報社会における法 と個人の責任	44 頁～49 頁	
第2編 デジタル情報と情報の活用 第1章 情報のデジタル表現	(1) 情報の活用と表現 イ 情報のデジタル化	60 頁～71 頁	19
第2章 情報の表現と伝達	(1) 情報の活用と表現 ウ 情報の表現と伝達	72 頁～83 頁	
第3編 情報通信ネットワーク 第1章 コミュニケーション手段の発 達	(2) 情報通信ネットワークと コミュニケーション ア コミュニケーション 手段の発達	106 頁～111 頁	14
第2章 インターネットのしくみ	(2) 情報通信ネットワークと コミュニケーション イ 情報通信ネットワー クの仕組み	112 頁～121 頁	
第4編 望ましい情報社会の構築 第1章 情報社会における問題解決	(4) 望ましい情報社会の構築 ウ 情報社会における問 題の解決	128 頁～135 頁	10

第2章 情報システム	(4) 望ましい情報社会の構築 ア 社会における情報システム イ 情報システムと人間	136 頁 ~ 141 頁	
		計	70

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-119	高等学校	情報	社会と情報	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104 数研	社情 315	社会と情報 Next		

ページ	記 述	類 型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項
	なし		

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 0)

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容